

# 瑞浪超深地層研究所の 施設活用について

平成23年10月28日

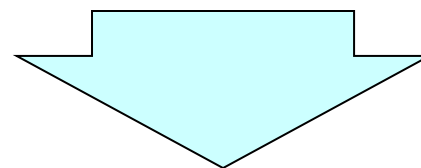
独立行政法人 日本原子力研究開発機構

東濃地科学センター



## 当面の施設活用方策（第3回跡利用検討委員会（H15年8月19日）でのご承認）

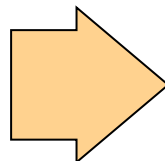
- イベントなどで実施してきた活動を今後も継続
- 深度100m毎に設置される予備ステージの活用などの具体策を策定して、本委員会に報告し、ご意見を頂きながら研究所施設の活用を進めていく



## 今回の委員会での報告事項

### 前回の委員会でのご意見

- ・ 市民への理解を深める
- ・ 子供たちに科学について関心を持ってもらえるような催し物



- 体験学習への取り組み
- 情報発信
- 施設供用
- 深度300mステージの活用状況
- 地球回廊での展示追加
- 管理棟展示コーナーの整備

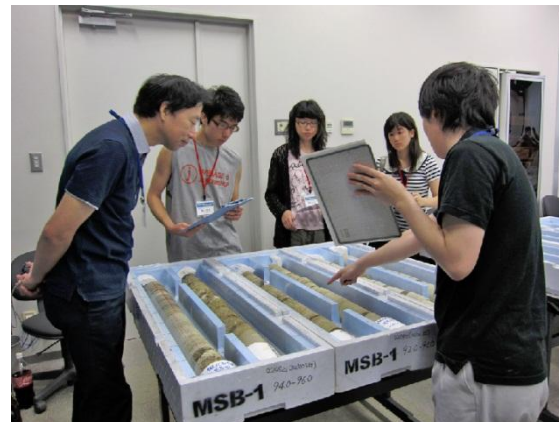
# 瑞浪超深地層研究所における体験学習への取り組み(1) 2

## 学生を対象とした先端科学体験

【サイエンスキャンプ】 高校生のための先端科学体験合宿プログラム 実施日：平成23年8月 参加数：10名

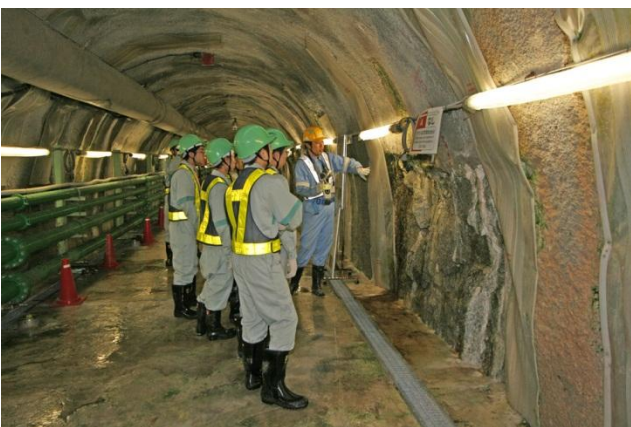


地下水の水質分析



ボーリングコアの観察

## 【スーパーサイエンスハイスクール】



平成23年6月：岐阜県立恵那高校（84名）  
平成23年7月：東海大学付属高輪台高校（20名）  
平成23年8月：福井県立藤島高校（34名）

## 【出張授業】



御嵩町共和中学校への講師派遣  
（平成22年12月）

（平成22年12月）  
東京工業大学への集中講義  
（平成23年1月）  
金沢大学への集中講義  
（平成23年10月）  
岐阜大学への講師派遣  
（平成23年6月）  
愛知県立熱田高校主催の  
実験教室への協力  
（名古屋市熱田児童館）  
（平成23年10月）  
サイエンスワールドへの  
講師派遣

文部科学省が進める科学技術、理科・数学教育を重点的に行う学校をスーパーサイエンスハイスクールとして指定し、科学技術系人材の育成に資する。

## 施設見学会



毎月1回の施設見学会  
(深度300m研究アクセス坑道)

### 【見学者数】

(平成22年12月～平成23年10月22日)

見学者総人数
2,124人
うち、 入坑者総人数
1,571人

## 各イベントへの出展



おもしろ科学館2011inみずなみ(平成23年8月)  
【主催：瑞浪市、中部経済産業局】

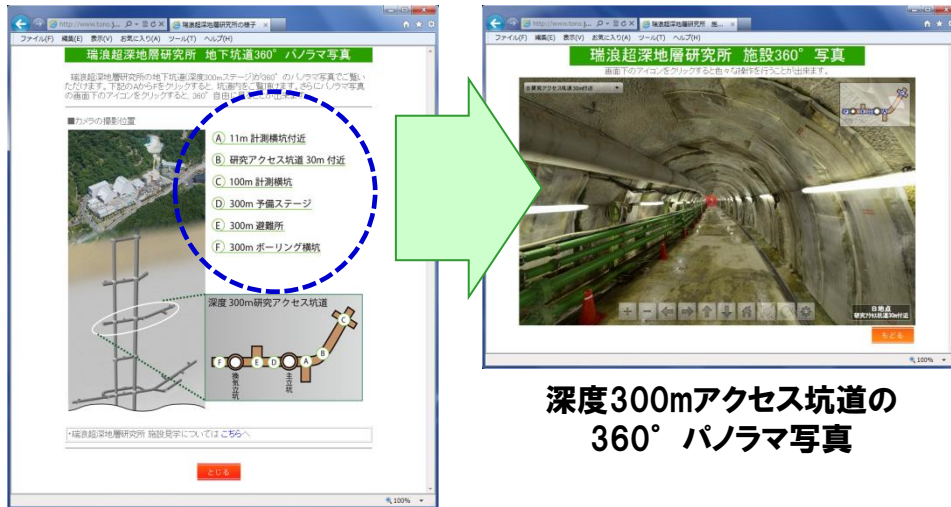
## 主な報道関係等

- 平成23年 3月:「大地震につながる『隠れた活断層』 地下からの希ガスもヒント」(朝日新聞)
- 平成23年 4月:「ギモンの視点」(雑誌 文藝春秋)
- 平成23年 4月:「廃炉－原発解体の絶望的現実」(雑誌 週刊現代)
- 平成23年 5月:「検証！原子力発電施設」(雑誌 プレジデント)
- 平成23年 6月:「ドデスカ！」(名古屋テレビ)
- 平成23年 7月:「瑞浪の地層研 立て坑深さ500メートルに」(中日新聞)
- 平成23年 8月:「ニュースten！」(読売テレビ)
- 平成23年 8月:「news every.」(中京テレビ)
- 平成23年 9月:「週刊☆コダワリタム」(中京テレビ)
- 平成23年10月:「NEWS ZERO」(日本テレビ)
- 平成23年10月:「報道ステーションSUNDAY」(テレビ朝日)

など



## 研究坑道360° パノラマ写真コンテンツの追加



深度300mアクセス坑道の  
360° パノラマ写真

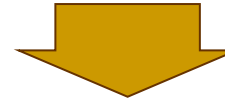
## 「研究坑道360° パノラマ写真」 コンテンツホームページ

深度300mステージの一つ一つの地点の写真画像を上下左右360度自由に見渡すことができる。また、写真画像奥の赤色のスポットをクリックすることで、深度300mステージを自由に散策することができる。

## もぐら博士の部屋コンテンツの更新



## 「立坑の壁面を観察してみよう」 (地層に関する体験ソフト)



## 「立坑の壁面を観察してみよう」 (深度400m予備ステージ)

研究坑道で実際に撮影した壁面の写真と壁面のスケッチのデータを用いて、地層の観察ができる体験ソフトをホームページで公開中

- 【壁面データの追加項目】
- ・主立坑：300.2～400.2m
  - ・換気立坑：300.2～400.2m
  - ・深度400m予備ステージ

## 【事業説明会の開催】

- 【自治体】(9ヵ所)  
岐阜県、瑞浪市、土岐市 など
- 【地元区】(6ヵ所)  
戸狩区、山野内区、月吉区、定林寺区、河合区、賤洞町内会
- 【その他】(6ヵ所)  
中部経済産業局、中部電力(株) など

## 【広報誌における情報発信】

平成14年4月より毎月1回発行  
平成23年10月号で115号



(広報誌：地層研ニュース)

## 【地層科学研究 情報・意見交換会の開催】

東濃地科学センターで実施している地層科学研究の研究成果の紹介を毎年行っている。

平成23年度情報・意見交換会（平成23年11月1日予定）



昨年の情報・意見交換会（平成22年10月19日）  
（参加者：約140名）

【主な配布先】（配布部数 約500部）  
瑞浪市、土岐市、戸狩区、山野内区、月吉区 など



## 施設供用

東濃地震科学研究所（坑内への地震計・歪計の設置）



深度200mボーリング横坑(主立坑)



深度300m研究アクセス坑道(100m計測横坑)

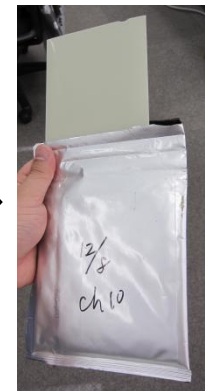
名古屋大学（ニュートリノ捕捉用原子核乾板の貯蔵）



深度200mボーリング横坑(主立坑)に  
保管された原子核乾板



原子核乾板の保管状態



原子核乾板

# 深度300mステージの活用状況

昨年引き続き、深度300mステージの説明用パネルを適宜更新



深度300m研究アクセス坑道  
(説明用パネルの展示)



深度300m研究アクセス坑道 100m計測坑道  
(説明用パネルの展示)



深度300m予備ステージ  
(説明用パネルの展示)



深度300mボーリング横坑(換気立坑)  
(説明用パネルの展示)



# 瑞浪市地球回廊の原子力機構ブースでの展示追加

瑞浪市地球回廊の原子力機構ブース「日本列島ひとまたぎ」において、主立坑から採取した岩石（深度60mから10m毎に深度200mまでの岩石と深度200mから50m毎に深度450mまでの岩石）を展示。岩石を直接触ることができるとともに、各地層（岩石）の特徴を説明したパネルも設置。

深度200m以深の岩石（深度200mから50m毎に深度450mまでの岩石）を追加



（瑞浪市地球回廊における立坑の岩石展示の様子）



# 瑞浪超深地層研究所 管理棟の展示コーナーの整備



(電子掲示板の導入)  
・施設説明パネル  
・施設紹介動画



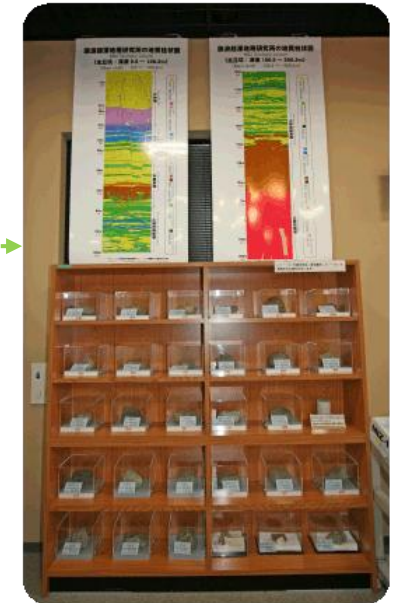
【管理棟 展示コーナー】



壁面スケッチ模型への  
壁面データの追加



立坑の壁面を観察してみよう  
(展示コーナーバージョン)及び  
壁面スケッチ卓上模型  
の壁面データの追加



主立坑の岩石標本展示の岩石追加



## 体験学習の場としての活用

- ① 学生を対象とした先端科学体験
- ② 瑞浪超深地層研究所の施設見学会
- ③ 各イベントへの出展

## 情報発信

- ① ホームページを用いた情報発信
- ② 地域への広報活動(事業説明会、地層研ニュースなど)

## 外部機関利用の促進

- ① 施設供用(東濃地震科学研究所、名古屋大学)

## 深度300mステージの活用

- ① 説明用パネルを適宜更新



ご清聴ありがとうございました

MIZUNAMI